

■荒尾精 興亜論を提唱し、支那改革のため(日清貿易研究所)を設立、多大の影響を与えたが、挫折し早世した。

あらおせい

安政の大獄・1859＝ 名古屋城下で、尾張藩下級武士の長男に生まれる。

桜田門外変・1860＝ 1歳：

明治維新・・・1868＝ 9歳：

廃藩置県・・・1871＝12歳：廃藩置県となり、一家で上京、父が荒物屋を始めるも、失敗して離散、薩摩藩出身の警察幹部の家に引き取られ、書生生活を送るうち、

明治6年政変 1873＝14歳：

出入りする軍将校らが西欧列強によるアジアへの圧力を語り合うのを聞いて、興亜のため軍人を志し、

西南戦争・・・1877＝18歳：

沖縄県編入・1879＝20歳：教導団を卒業して、軍曹となり、

・・・・・・1880＝21歳：陸軍士官学校に入学、

明治14年政変1881＝22歳：

新体詩抄・・・1882＝23歳：卒業(旧5期)。歩兵少尉となり、

岩倉具視没・1883＝24歳：熊本の歩兵第13連隊に赴任、

内閣発足・・・1885＝26歳：東京の参謀本部支那部付となる。

帝国大学始・1886＝27歳：\*参謀次長川上操六に命じられ、情報収集のため渡清。貿易会社{楽善堂}上海支店に岸田吟香を訪ね、活動をカムフラージュすべく{漢口楽善堂}を開いて、商業活動しながら情報収集。

帝国憲法発布1889＝30歳：\_帰国して「復命書」で、“清国が末期的状況にあり、改革を援けてアジア振興を図るべし”と指摘すると、

帝国議会始・1890＝31歳：\*軍籍を離脱、“貿易富国”を担う人材を育成すべく、上海に{日清貿易研究所}を設立後、歩兵大尉に復帰、

郡司千島探検1893＝34歳：\*資金難から閉鎖。予備役となり、

日清戦争始・1894＝35歳：\_日清戦争中に活発な言論活動を行い、

日清戦争終・1895＝36歳：\_戦後は、日本政府の清国に対する領土や賠償金の要求を厳しく批判したが、

白馬会・・・1896＝37歳：\*皮肉にも、日本が得た台湾に渡り、病気になるって、急逝した。

4年後、{日清貿易研究所}を基に、岸田吟香もメンバーとなって{東亜同文書院}が創立される。